

7. 災害

I 防災

第7-1表 地震に関する被害想定

平成24年4月に東京都防災会議が公表した「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」に基づく。

前提条件		種類	東京湾北部地震	多摩直下地震	元禄型関東地震	立川断層帯地震
		地震の規模(注1)	マグニチュード7.3 (震度6強、一部地域6弱)	マグニチュード7.3 (震度6弱、一部地域6強)	マグニチュード8.2 (震度6弱又は6強)	マグニチュード7.4 (震度5強又は5弱以下)
		地震発生時刻	冬の夕方、午後6時、風速8m/秒(注1)			
		夜間人口	268,330 人			
		昼間人口	271,320 人			
		面積	14.7 km ²			
震度別面積率	5弱以下	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	41.3 %
	5強	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	58.7 %
	6弱	12.8 %	97.9 %	50.9 %	0.0 %	0.0 %
	6強	87.2 %	2.1 %	49.1 %	0.0 %	0.0 %
	7	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
建物棟数	木造	40,796 棟				
	非木造	23,689 棟				
	計	64,485 棟				
建物全壊棟数	ゆれ(注2)	木造	2,119 棟 (5.2 %)	777 棟 (1.9 %)	1,301 棟 (3.2 %)	0 棟 (0.0 %)
		非木造	391 棟 (1.6 %)	117 棟 (0.5 %)	221 棟 (0.9 %)	0 棟 (0.0 %)
		計	2,510 棟	894 棟	1,522 棟	0 棟
	液状化	6 棟	5 棟	5 棟	0 棟	
	急傾斜地崩壊	23 棟	19 棟	22 棟	4 棟	
計	2,538 棟	919 棟	1,549 棟	4 棟		
建物半壊棟数	ゆれ	木造	4,631 棟	4,323 棟	4,477 棟	6 棟
		非木造	1,152 棟	523 棟	802 棟	7 棟
		計	5,783 棟	4,846 棟	5,279 棟	13 棟
	液状化	307 棟	287 棟	275 棟	0 棟	
	急傾斜地崩壊	36 棟	31 棟	35 棟	6 棟	
計	6,126 棟	5,163 棟	5,588 棟	19 棟		
急傾斜地崩壊危険箇所		20 箇所	20 箇所	20 箇所	20 箇所	
津波全壊棟数		— 棟	— 棟	0 棟	— 棟	
ライフライン被害	上水道(断水率)	40.1 %	30.7 %	50.5 %	0.2 %	
	ガス(供給支障率)(注3)	0.0 % ~ 100 %	0.0 % ~ 100 %	0.0 % ~ 100 %	0.0 % ~ 0.0 %	
	電力(停電率)	26.4 %	5.3 %	16.2 %	0.1 %	
	通信(固定電話不通率)	18.4 %	1.3 %	11.0 %	0.0 %	
	下水道(管きよ被害率)	30.3 %	25.2 %	27.8 %	17.1 %	
火災	出火件数	27 件	5 件	17 件	1 件	
	焼失棟数(注5、6)	11,232 棟 (20.8 %)	751 棟 (1.4 %)	7,067 棟 (13.1 %)	26 棟 (0.0 %)	
		10,795 棟	741 棟	6,900 棟	26 棟	

前提条件	種類	東京湾北部地震	多摩直下地震	元禄型関東地震	立川断層帯地震	
	地震の規模	マグニチュード7.3 (震度6強、一部地域6弱)	マグニチュード7.3 (震度6弱、一部地域6強)	マグニチュード8.2 (震度6弱又は6強)	マグニチュード7.4 (震度5強又は5弱以下)	
	地震発生時刻	冬の夕方、午後6時、風速8m/秒(注1)				
人的被害	死者	ゆれ・液状化建物被害	96 人	35 人	59 人	0 人
		急傾斜地崩壊	2 人	1 人	2 人	0 人
		火災	230 人	16 人	145 人	1 人
		津波	— 人	— 人	0 人	— 人
		ブロック塀等	4 人	3 人	3 人	0 人
		屋外落下物	0 人	0 人	0 人	0 人
		屋内収容物(参考値)	6 人	3 人	3 人	1 人
		計	332 人	55 人	209 人	1 人
	(うち重傷者数)	ゆれ・液状化建物被害	2,041 人 (240 人)	1,187 人 (84 人)	1,535 人 (144 人)	3 人 (0 人)
		急傾斜地崩壊	2 人 (1 人)	2 人 (1 人)	2 人 (1 人)	0 人 (0 人)
		火災	1,016 人 (283 人)	29 人 (8 人)	622 人 (174 人)	1 人 (0 人)
		ブロック塀等	131 人 (51 人)	88 人 (34 人)	109 人 (42 人)	7 人 (3 人)
		屋外落下物	6 人 (1 人)	2 人 (0 人)	4 人 (0 人)	0 人 (0 人)
		屋内収容物(参考値)	129 人 (28 人)	68 人 (15 人)	68 人 (15 人)	8 人 (1 人)
		計	3,195 人 (576 人)	1,308 人 (127 人)	2,271 人 (361 人)	12 人 (3 人)
		帰宅困難者	滞留者数	241,932 人	241,932 人	241,932 人
帰宅困難者数	78,206 人		78,206 人	78,206 人	78,206 人	
避難者数 (注4)	避難人口	94,335 人	41,249 人	81,575 人	354 人	
	避難所生活者	61,318 人	26,812 人	53,024 人	230 人	
閉じ込めにつながり得るエレベーター停止台数		152 台	87 台	124 台	26 台	
要配慮者死者数		153 人	25 人	96 人	1 人	
自力脱出困難者		828 人	290 人	498 人	0 人	
震災廃棄物		117 万t	47 万t	80 万t	1 万t	

小数点以下の四捨五入により、合計値は合わないことがある。

注1：震災被害には、季節、時刻、気象条件が大きく影響するため、被害が最大になると思われる条件を選択した。

注2：建物全壊棟数の（）内は建物全壊率。

注3：東京ガス供給区域内の約46,000kmの低圧ガス道管は、140のブロックに分割されており、被害が大きい地域だけを分割してガスの供給を停止することが出来る。このため、2種類の想定パターンで結果を出している。

① ブロック内の全域でSI値が60kineを超え、確実に低圧ガスの供給停止を行うケースを想定。

② ブロック内のある程度の範囲で60kineを超え、さらに二次災害発生の危険がある場合（火災延焼地域等）、追加で供給停止を行うケースも考えられるため、ブロック内の3分の1で60kineを超える場合を想定。

なお、マイコンメーター（震度5以上の場合自動的にガスを遮断するシステム）による遮断は供給支障とは取り扱わない。

注4：避難者数は、夜間人口に基づいているため、地震発生の時間帯により、他の区市町村内で帰宅困難となっている場合が想定される。

注5：焼失した建物と倒壊した建物の棟数は、一部被害が重複するので、焼失した建物に倒壊した建物を含む場合と含まない場合を示す。

注6：火災による焼失棟数の（）内は焼失率。

第7-2表 大地震時における地域避難場所

地区	番号	名称	場所	地区	番号	名称	場所
北部	1	都立国際高校	駒場2-19-59	中央	21	碑文谷公園	碑文谷6-9-11
	2	駒場小学校	駒場3-11-13				碑文谷体育館
	3	第一中学校	大橋2-11-1	南部	22	月光原小学校	目黒本町4-15-3
	4	都立駒場高校	大橋2-18-1		23	向原小学校	目黒本町6-7-15
	5	菅刈小学校	青葉台3-3-26		24	第七中学校	碑文谷1-1-33
		菅刈公園	青葉台2-11-25		25	碑小学校	碑文谷1-18-2
	6	東山中学校	東山1-24-31		26	原町小学校	原町2-18-12
	7	東山小学校	東山2-24-25		27	第九中学校	洗足1-29-26
8	鳥森小学校	上目黒3-37-27	28	第八中学校	碑文谷4-19-25		
東部	9	めぐろ学校サポートセンター	中目黒3-6-10	西部	29	大岡山小学校	平町2-3-1
	10	中目黒小学校	中目黒3-13-32		30	中根小学校	緑が丘1-1-1
	11	田道小学校	目黒1-15-28		31	第十一中学校	緑が丘1-8-1
	12	下目黒小学校	目黒2-7-9		32	緑ヶ丘小学校	緑が丘2-13-1
	13	大鳥中学校	下目黒3-23-18		33	自由ヶ丘学園高等学校	自由が丘2-21-1
	14	不動小学校	下目黒6-11-35		34	宮前小学校	八雲3-13-21
中央	15	上目黒小学校	五本木1-12-13	35	めぐろ区民キャンパス	八雲1-1-1	
	16	都立目黒高校	祐天寺2-7-15		都立桜修館中等教育学校	八雲1-1-2	
	17	油面小学校	中町1-5-4	36	八雲小学校	八雲2-5-1	
	18	目黒中央中学校	中町2-37-38	37	第十中学校	八雲5-2-1	
	19	五本木小学校	五本木2-24-3	38	東根小学校	東が丘1-20-1	
	20	鷹番小学校	中央町1-20-26				

令和4年1月現在。

第7-3表 大地震時における広域避難場所

避難場所名	避難地区割当
駒場東大一帯	駒場3・4丁目、 世田谷区・渋谷区の一部
駒場地区	駒場1・2丁目、青葉台1~4丁目、大橋1・2丁目、 世田谷区の一部
中目黒公園一帯	上目黒1・2丁目、中目黒1~5丁目、三田2丁目、目黒1~4丁目、 下目黒1・2丁目と3~6丁目の各一部(注記1)、中町1・2丁目、 祐天寺1・2丁目、渋谷区の一部
世田谷公園一帯	東山1~3丁目、上目黒3~5丁目、五本木1~3丁目、 世田谷区の一部
東京工業大学	原町1・2丁目、洗足1・2丁目、南1~3丁目、大岡山1・2丁目、 緑が丘1~3丁目、品川区・大田区の一部
駒沢オリンピック公園一帯	中央町1・2丁目、目黒本町2丁目、碑文谷1~6丁目、 鷹番1~3丁目、平町1・2丁目、自由が丘1~3丁目、 中根1・2丁目、柿の木坂1~3丁目、八雲1~5丁目、 東が丘1・2丁目、世田谷区の一部
林試の森公園	下目黒3~6丁目の各一部(注記2)、目黒本町1・3~6丁目、 品川区の一部
恵比寿ガーデンプレイス	三田1丁目、渋谷区の一部

令和4年1月現在。

避難地区割当の補足

(注記1) 下目黒3丁目1番~3番・23番・24番、下目黒4丁目1番~16番、
下目黒5丁目1番~7番・15番~23番、下目黒6丁目1番~3番・13番~19番

(注記2) 下目黒3丁目4番~22番、下目黒4丁目17番~23番、
下目黒5丁目8番~14番・24番~37番、下目黒6丁目4番~12番・20番~22番

第7-4表 備蓄倉庫

地区	名称	場所	面積(m ²)	設置年度	備考
北部 (688.68m ²)	北部地区上目黒備蓄倉庫	上目黒2-48-2	61.20	昭和53	目黒土木公園事務所
	北部地区備蓄倉庫	青葉台2-10-27	344.68	昭和55	菅刈保育園
	北部地区大坂橋下備蓄倉庫	青葉台3-6-19	26.56	平成27	
	北部地区東山公園備蓄倉庫	東山2-18-8	202.50	平成22	
	北部地区東山小学校内備蓄倉庫	東山2-24-25	53.74	平成30	東山小学校地域避難所防災倉庫を兼ねる
東部 (958.10m ²)	東部地区田道備蓄倉庫	目黒1-25-26	173.68	平成4	田道ふれあい館
	東部地区下目黒備蓄倉庫	目黒3-4-4	221.57	平成5	田道保育園
	東部地区中目黒公園備蓄倉庫	中目黒2-3-14	210.24	平成14	
	東部地区目黒不動防災ひろば備蓄倉庫	下目黒3-10-22	35.96	平成22	
	東部地区三田フレンズ備蓄倉庫	三田1-11-26	84.46	平成25	
	東部地区三田二丁目備蓄倉庫	三田2-6-3	19.44	平成25	茶屋坂児童遊園
	東部地区こぶしえん備蓄倉庫	下目黒6-18-2	212.75	令和3	複合施設こぶしえん
中央 (874.06m ²)	中央地区備蓄倉庫	中央町1-9-7	402.31	平成9	防災センター
	中央地区碑文谷体育館備蓄倉庫	碑文谷6-12-43	236.89	平成13	碑文谷公園地域避難所防災倉庫を兼ねる
	中央地区五本木二丁目備蓄倉庫	五本木2-20-23	33.30	平成22	
	中央地区目黒中央の家備蓄倉庫	中央町2-32-23	201.56	令和元	特別養護老人ホーム目黒中央の家
南部	南部地区備蓄倉庫	目黒本町2-1-20	316.89	昭和56	南部地区センター
西部 (691.37m ²)	西部地区備蓄倉庫	八雲3-13-21	341.35	昭和59	宮前小学校地域避難所、自由ヶ丘学園地域避難所防災倉庫を兼ねる
	西部地区応急対策資機材等倉庫	八雲1-1-8	350.02	平成12	めぐろ区民キャンパス地域避難所防災倉庫を兼ねる
地区備蓄倉庫合計			3,529.10		
地域避難所防災倉庫(35カ所)			744.81		備蓄倉庫利用含まず
総合計			4,273.91		

令和4年1月現在。

第7-5表 応急対策用器材

器材	数量	器材	数量
発電機	414 台	トイレ	400 台
投光機	984 台	下水道管直結型トイレ	286 台
炊飯器	54 台	簡易便座	330 台
ポンプ	43 台	リヤカー	39 台
移動式蛇口	75 台	ろ水機	5 基
救助器具	49 セット	応急給水セット	55 セット

令和4年1月現在。

第7-6表 水、食糧、日用品の備蓄(主なもの)

品名		数量	品名		数量
応急給水	林試の森公園	1,500 t	メガホン		202 台
	八雲給水所	16,600 t	担架		316 台
指定協力井戸		162 本	タオル		53,100 枚
食糧(ビスケット・アルファ米等)		562,238 食	肌着		42,425 枚
要配慮者用食糧		60,716 食	紙おむつ		84,144 枚
ミネラルウォーター(500ml)		1,116,000 本	ほ乳びん		1,589 本
毛布類		96,070 枚	ポリタンク		10 個
マット類		50,130 枚	生理用品		414,264 個
ブルーシート		1,646 枚	三角きん		4,000 枚
花ござ		3,295 枚	おんぶ帯		47 個
懐中電灯		552 個			

令和4年1月現在。

Ⅱ 火災

第7-7表 火災発生状況の推移

年次	件数	焼失面積 (㎡)	死亡者 (人)	傷者 (人)
平成 29	64	297	3	8
30	70	251	1	8
令和 元	67	260	0	11
2	46	127	0	12
3	86	378	2	15

各年12月31日現在。

目黒消防署調べ。

第7-8表 事故別救急件数

(単位:件)

年次	総数	急病	交通事故	自損	加害	火災	運動競技	労働災害	一般	転院搬送	その他
平成 29	9,908	6,494	648	70	76	35	46	56	1,945	458	80
30	10,078	6,813	594	53	48	40	42	53	1,906	458	71
元	10,630	7,146	592	52	61	45	59	48	2,058	454	115
令和 2	10,531	6,918	558	93	76	61	41	63	2,130	469	122
3	11,049	7,374	580	73	47	62	46	60	2,141	512	154

各年12月31日現在(令和3年を除く)。

目黒消防署調べ。

令和3年の数値は、令和4年1月4日現在の速報値による。

第7-9表 原因別火災発生状況

(単位:件)

年次	電気	たばこ	こんろ	放火・その他
平成 29	19	13	9	23
	21	12	11	26
30	20	11	10	17
	21	10	7	8
令和 元	36	12	6	32
	21	10	7	8
2	21	10	7	8
	21	10	7	8
3	21	10	7	8
	21	10	7	8

各年12月31日現在。火災発生原因順位による。

目黒消防署調べ。

第7-10表 消防水利現況

項目別 総数	消火栓			消火栓以外											
	公設 消火栓 (排水栓)	私設 消火栓	大型 高圧 消火栓	防火水槽等						その他					
				防火 水槽 (所管内)	地中ばり 水槽 (所管内)	転用 水槽 (所管内)	飲料用 受水槽	雨水 貯留槽	兼用 水槽	貯水 池	プ ール	河 川	溝	池	井 戸
	2,494 (14)	4	2	329 (191)	289 (3)	6 (1)	11	4	7	4	39	5	0	6	0
項目別 総数	2,500 (14)			646 (195)						54					
総数	3,200														

令和4年1月1日現在。

目黒消防署調べ。

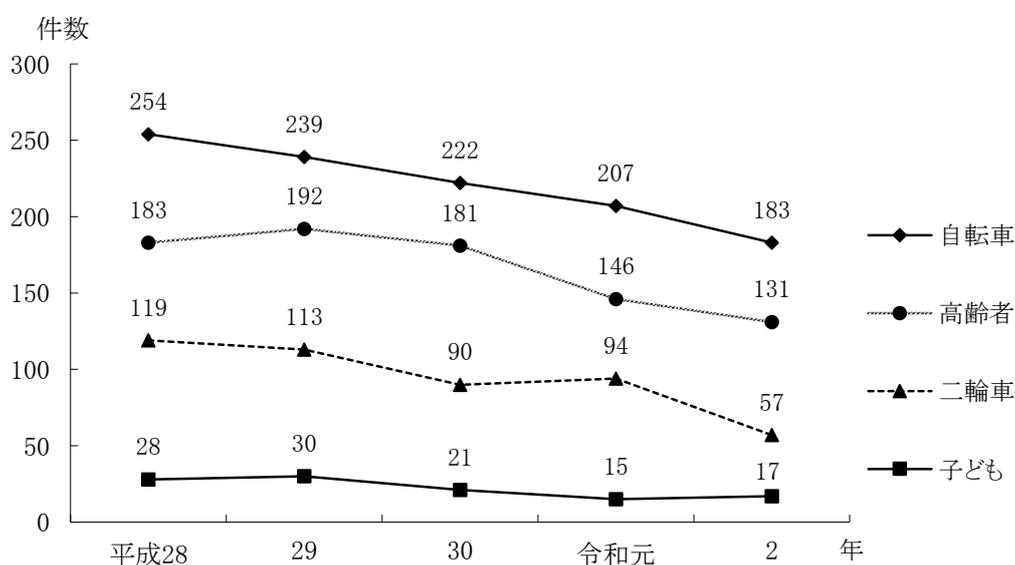
Ⅲ 交通事故・犯罪

第7-11表 交通事故と死傷者数の推移

年次	事故件数(件)	死亡者数(人)	重傷者数(人)	軽傷者数(人)
平成 28	568	1	9	626
29	573	0	16	633
30	512	1	21	564
令和 元	462	3	31	499
2	386	1	7	411

「警視庁交通年鑑」による。

第7-1図 目黒区当事者別交通事故発生件数の推移



「交通事故統計表（行政区別）」による。

第7-12表 刑法犯発生件数の推移

(単位：件)

年次	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
平成 28	2,135	9	116	1,562	117	31	300
29	2,058	11	114	1,412	168	12	341
30	1,857	10	124	1,274	148	9	292
令和 元	1,807	12	96	1,290	142	11	256
2	1,438	8	101	952	126	20	231

「警視庁の統計（目黒・碑文谷警察署合計数）」より。

「凶悪犯」は殺人、侵入強盗、非侵入強盗、放火、強制性交等。
 「粗暴犯」は凶器準備集合、暴行、傷害、傷害致死、脅迫、恐喝。
 「窃盗犯」は侵入窃盗、非侵入窃盗。
 「知能犯」は詐欺、横領、偽造、汚職、背任。
 「風俗犯」は賭博、わいせつ。